SONY®

3-864-360-**07** (2)

TV(1-3ch)・FM/AM ラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-B7

* 3 8 6 4 3 6 0 0 7 * (2)

品 名 ラジオ

型 名 ICF-B7

保証書 T10-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

⚠警告 電池には、リチウムなどの可燃性物質が含まれていますので、下記の注意事項を守らないと発火、破裂により、**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

- 火の中にいれない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池には直接ハンダ付けをしない。

主な特長

- 非常時に役立つ非常用ラジオ。
- 長期保存に適したリチウム電池を付属。
- 雨や雪の中でもラジオを保護する防滴*キャリングケース付き。
- 非常事態を周囲に知らせるのに便利なホイッスル付属。
- 応急手当を覚えておくのに便利な手引き(応急手当を覚えておこう)付属。

* このキャリングケースの防滴の種類は防滴II形(JIS日本工業規格)です。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  —温度が非常に高い所(40℃以上)や低い所(0℃以下)。
  —直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  —風呂場など湿気の多い所。
  —窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  —ほこりの多い所。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 耳をあまり刺激しないように、適度な音量でお楽しみください。
- 常によい音でお聞きいただくために、イヤホンのプラグをときどき柔らかい布でからぶきし清潔に保ってください。
- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、ソニーの相談窓口またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- イヤホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口に相談してください。

防水性についてのご注意

キャリングケースは多少の雨や雪、水しぶきのかかるところでも使える防滴機構になっていますが、次の点に充分ご注意ください。

- 大量に水をかけないでください。
- 水の中につけないでください。
- 水がかかったり水中に落ちた場合は、すぐ引き上げて、乾いた布で水分を拭き取ってください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数	FM：76～108 MHz (TV 1～3チャンネル)*[1] AM： 530～1,605 kHz
スピーカー	直径約ø 5.7 cm 丸型 8 Ω 1個
出力端子	◎（イヤホン）端子 （ミニジャック ø 3.5 mm）1個
実用最大出力	100 mW（JEITA*[2]）
電源	DC 3 V リチウム電池1本 または、単3形乾電池 2本
最大外形寸法	約133.8 × 72 × 33.6 mm （幅/高さ/厚さ）（JEITA）
質量	本体 約223 g（イヤホン、電池アダプター、リチウム電池含む） キャリングケース収納時 約335 g（イヤホン、電池アダプター、リチウム電池、ホイッスル、キャリングケース含む）

*[1] 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

*[2] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

リチウム電池（1）
イヤホン (1)
ホイッスル（1）
電池アダプター（1）
キャリングケース（1）
取扱説明書・保証書（1）
応急手当の手引き (応急手当を覚えておこう)（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

別売りアクセサリー

リチウム電池CR2

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、次のことをお調べください。

ラジオの音が全く聞こえない。

- → 乾電池の⊕⊖が逆になっている。
- → 電池が消耗している。
- → 音量が最小になっている。
- → ◎端子にイヤホンが差し込まれている。

雑音が多く、音が悪い。

- → 電池が消耗している。
- → 電波が弱い。
  建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

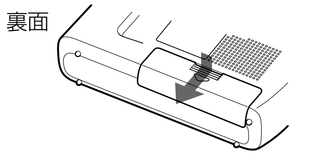
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

電池を入れる

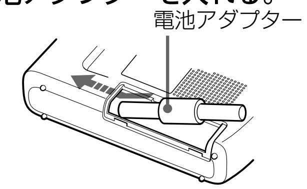
このラジオは2種類の電池、リチウム電池1本 (必ず付属の電池アダプターと一緒に使います) または単3形乾電池2本で使うことができます。

リチウム電池で使う

1 電池入れのふたを開ける。

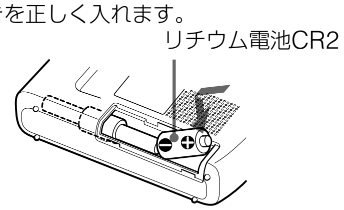


2 付属の電池アダプターを入れる。



3 リチウム電池を入れる。

＋と－の向きを正しく入れます。



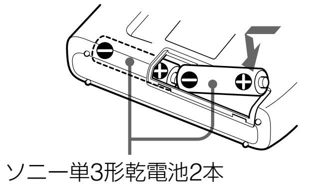
4 ふたを閉める。

乾電池で使う

1 電池入れのふたを開ける。

2 乾電池を入れる。

単3形乾電池を2本、＋と－の向きを正しく入れます。



3 ふたを閉める。

電池の持続時間 (JEITA*)

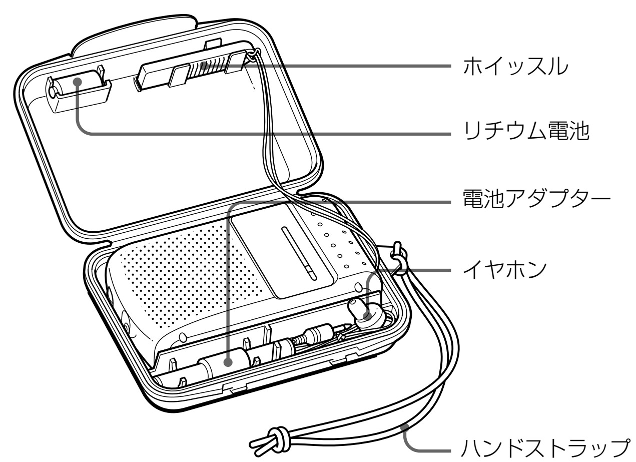
(単位：時間)

放送の種類	FM(TV1-3ch)		AM	
	イヤホン使用時	スピーカー使用時	イヤホン使用時	スピーカー使用時
ソニーリチウム電池CR2	約90	約30	約125	約35
ソニー単3形(R6)マンガン乾電池	約120	約40	約170	約45

* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

キャリングケースについて

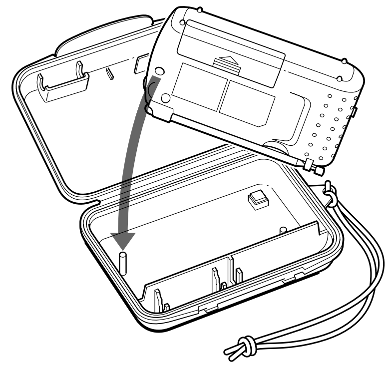
ラジオをキャリングケースに入れておくと、非常時の持ち運びに便利です。



ラジオはいつも決まった場所にかけたり置いたりして、すぐ使えるようにしておいてください。

ラジオを収納するときは

ラジオの裏面にある穴をキャリングケースの突起部に差し込んでください。



付属のホイッスルを使う

非常事態を周囲に知らせるときに便利です。

あらかじめ、家族の間でホイッスルの吹き方を決めておくと、いざというときに役立ちます。

例　お父さーん：ピッ、ピッ、ピッ！
　　お母さーん：ピー、ピー！

けがをした…こんなときのために付属の「応急手当を覚えておこう」を読んでおくことをおすすめします。

ご注意

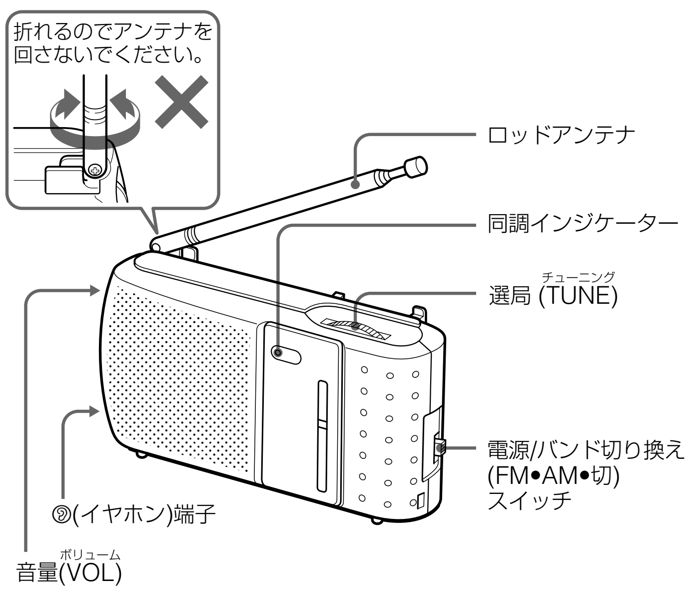
・むやみにホイッスルを吹くと、誤認されたり、騒音になりますので、通常時の使用はご注意ください。
・ホイッスルの音は、周囲の雑音や状況によって、周りに聞こえにくくなることがあります。

電池の交換時期

電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、電池を新しいものと交換してください。
電池の消耗状態は、1年に1度、防災の日などに確認することをおすすめします。
リチウム電池は長期保存に適していますが、念のため使用推奨期限を確認してお使いください。

ラジオを聞く

スピーカーまたは付属のイヤホンで聞くことができます。



1 電源/バンド切り換えスイッチで、FM (TV 1-3ch)、またはAMを選ぶ。

TV(1-3ch)を聞く場合はFMに合わせます。

2 選局 (TUNE) つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ。

放送を受信すると同調インジケーターが点灯します。

3 音量 (VOL)つまみで音量を調節する。

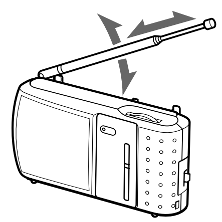
電源を切るときは

電源/バンド切り換えスイッチを、切に合わせます。

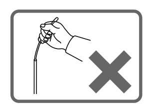
受信状態を良くするには

FM(TV1-3ch) 放送

ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が最も良くなるように長さや角度を調節します。

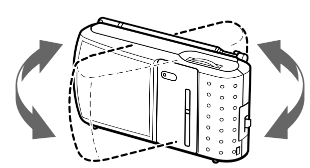


- ロッドアンテナの角度を調整するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。



AM放送

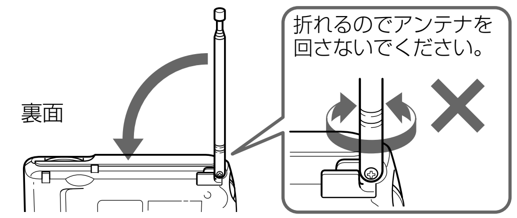
AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。



テレビ放送の受信についてのご注意

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

アンテナを収納するときは



①アンテナをまっすぐ立てる。
②アンテナを左に倒す。
③アンテナを収納する。

付属のイヤホンで聞くには

イヤホンを⑨ (イヤホン)端子につなぎます。この場合、スピーカーから音は出ません。